

# 事業概要

(廿日市市：(都) 畑口寺田線)

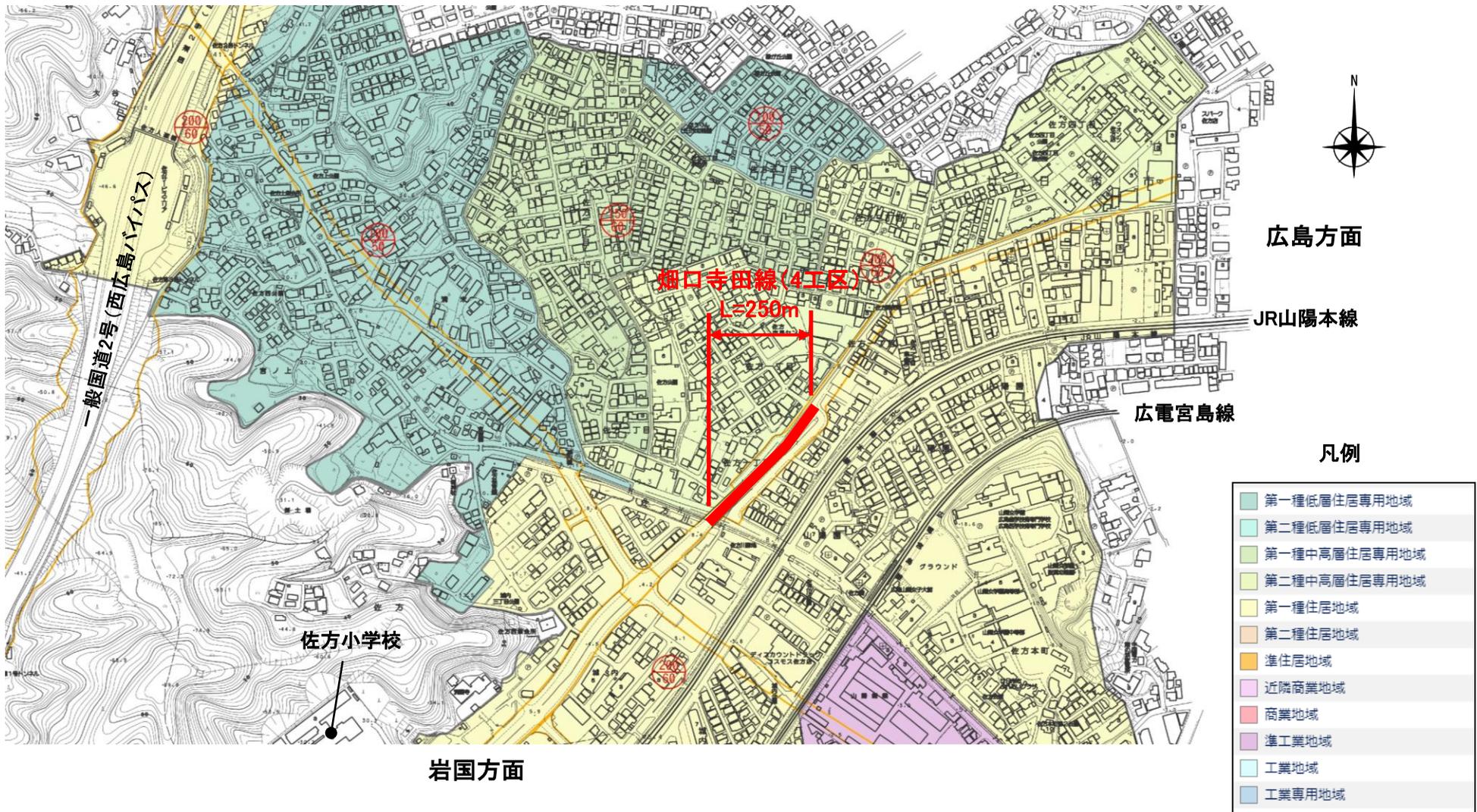
応募No.	12		
事業主体	廿日市市	事業箇所	広島県廿日市市佐方一丁目地先
応募者名	廿日市市建設部施設整備課		
ふりがな 事業名称	としけいかくどうろ はたぐちてらだせん 都市計画道路 3・4・201号畑口寺田線(4工区)		
事業概要 (400字以内)	<p>本路線は、廿日市市の畑口地区から広島市佐伯区の寺田地区を結ぶ、延長9.5kmの都市計画道路である。廿日市市域の整備延長5.5kmのうち、約5.0kmが供用されている。</p> <p>本事業区間は、近隣に位置する佐方小学校の通学路となっているが、歩道が狭く、JR山陽本線鴨原踏切により慢性的な渋滞が発生しており、自動車と歩行者、自転車が交錯し、大変危険な状況であった。</p> <p>このような状況において、本事業は、通学路の安全確保と交通の円滑化を目的として、平成25年に事業認可を取得し、平成30年度から現道拡幅による広幅員歩道の設置工事及び橋梁工事を実施したものである。</p> <p>合流部やクランク部において、歩道利用者と車両が交錯し危険が予測される箇所には、カラー舗装やラバーポール等で注意喚起を行うなど特に安全対策に配慮している。また、鴨原踏切への交通量も約3割減少しており、交通渋滞の緩和に寄与している。</p>		
事業規模	事業延長(km)	約0.3km	
	幅員(m)	約14.0m	
	事業期間(和暦)	平成25年～令和3年	
	事業費(億円)	約24億円	
受賞歴	無		
URL	<a href="https://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/soshiki/42/70747.html">https://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/soshiki/42/70747.html</a>		

# 事業位置図



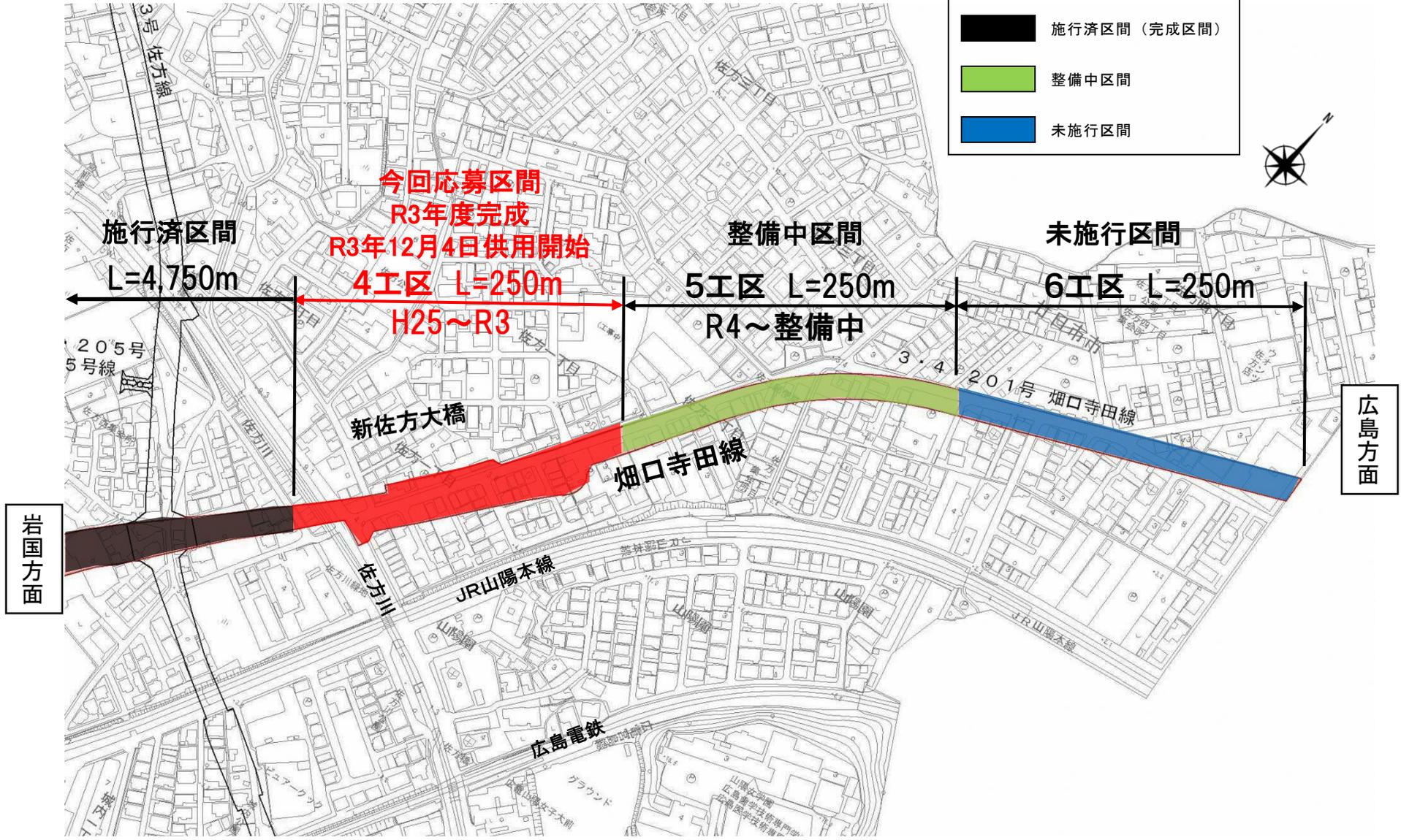
第37回全国街路事業コンクール応募資料 様式1

# 都市計画図(用途地域図)



# 路線全体の進捗状況

凡例	
<span style="display:inline-block; width:20px; height:10px; background-color:red;"></span>	今回応募区間
<span style="display:inline-block; width:20px; height:10px; background-color:black;"></span>	施行済区間 (完成区間)
<span style="display:inline-block; width:20px; height:10px; background-color:lightgreen;"></span>	整備中区間
<span style="display:inline-block; width:20px; height:10px; background-color:blue;"></span>	未施行区間

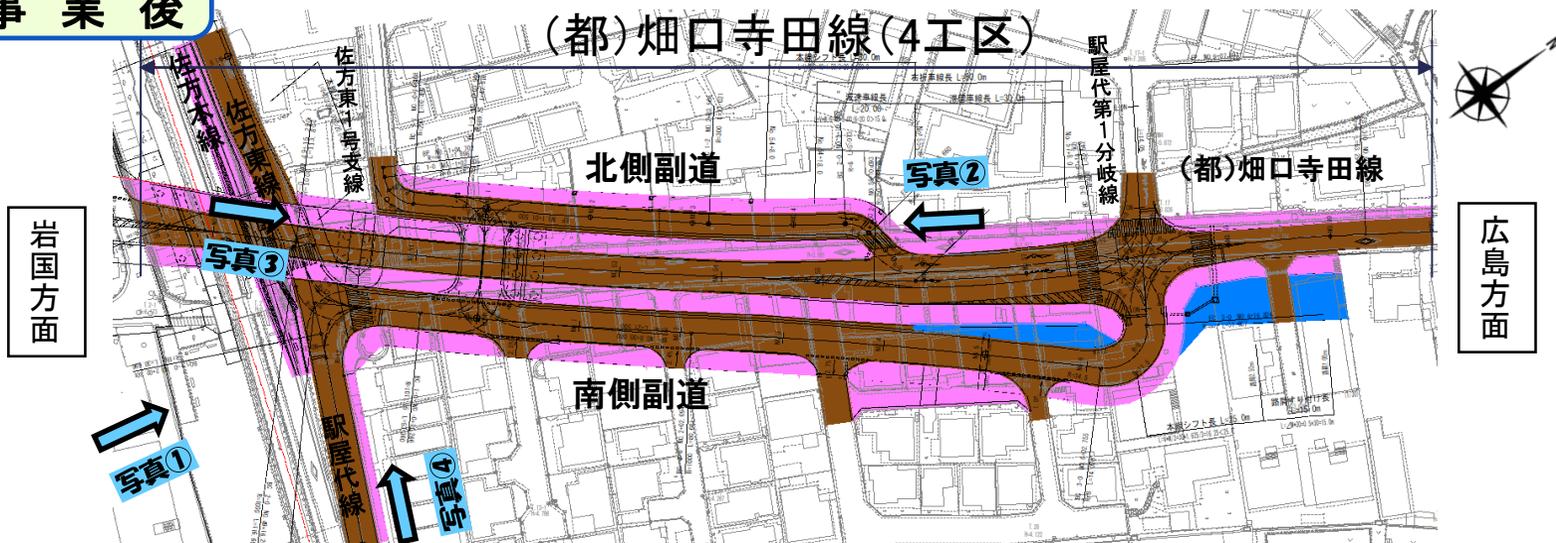


平面図

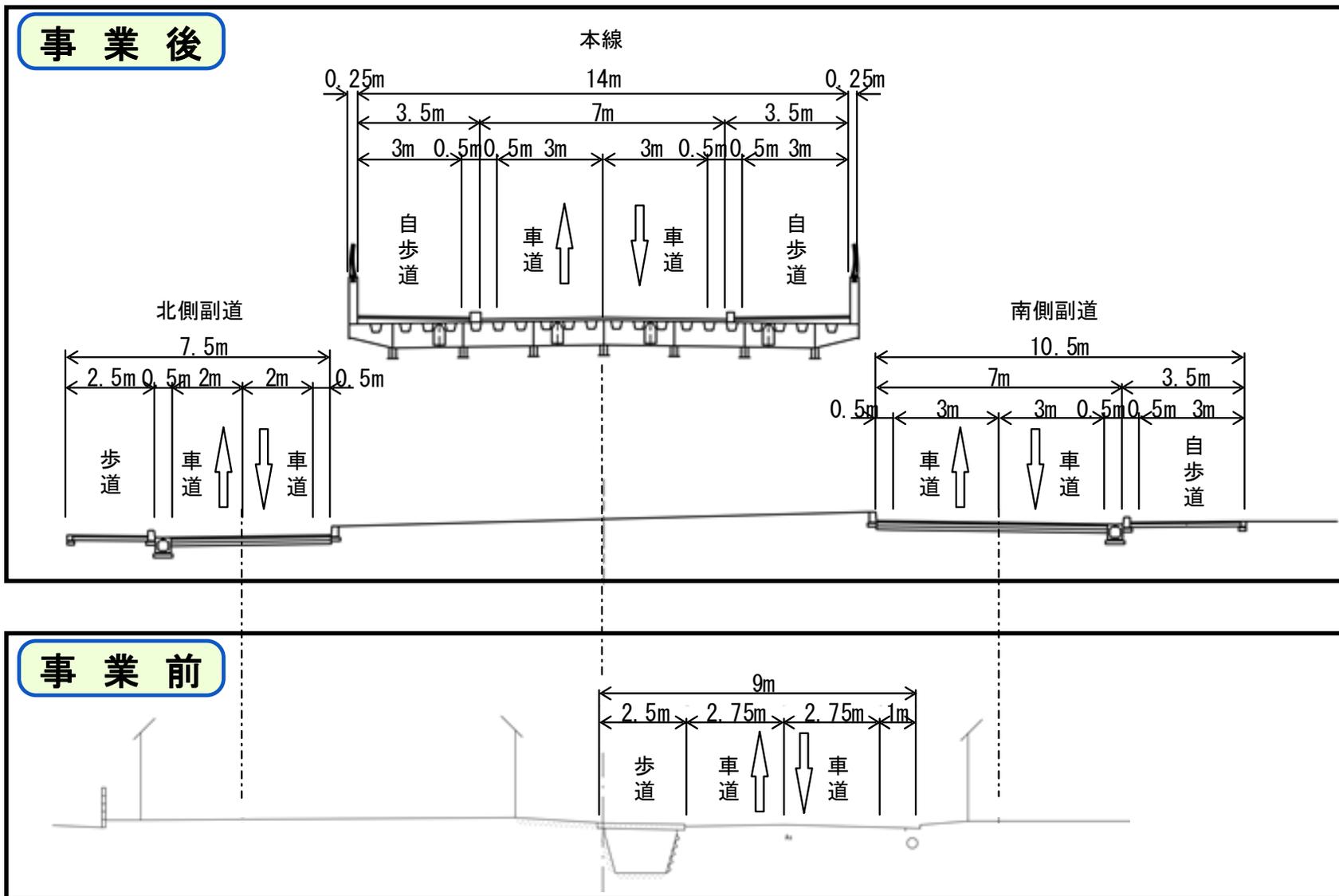
事業前



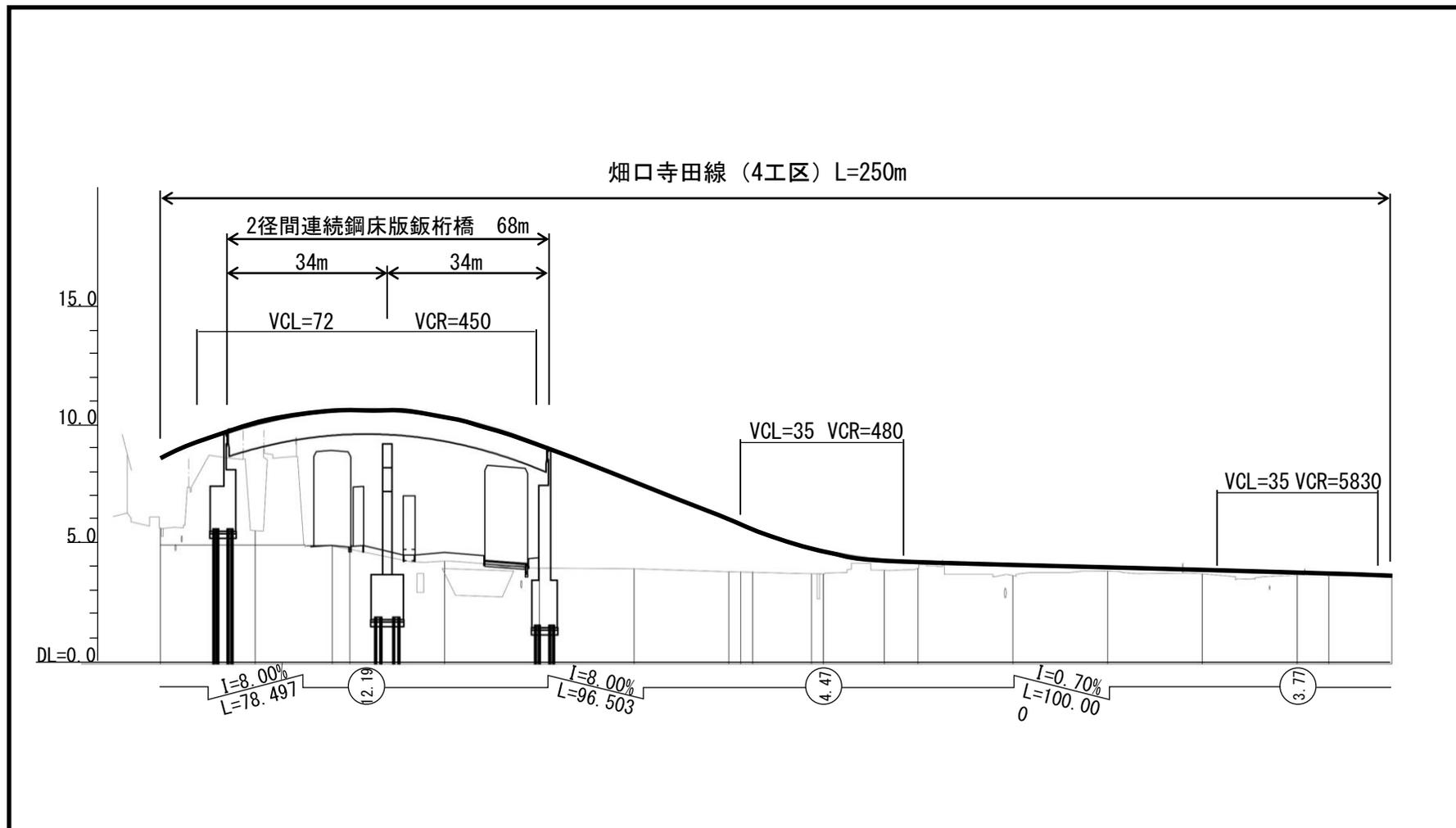
事業後



横断図



縦断図



事業前写真

事業後写真

(廿日市市：(都)畑口寺田線)

写真①



写真①



写真②



写真②



事業前写真

事業後写真

(廿日市市：(都)畑口寺田線)



# 事業効果アピール資料

(廿日市市：(都) 畑口寺田線)

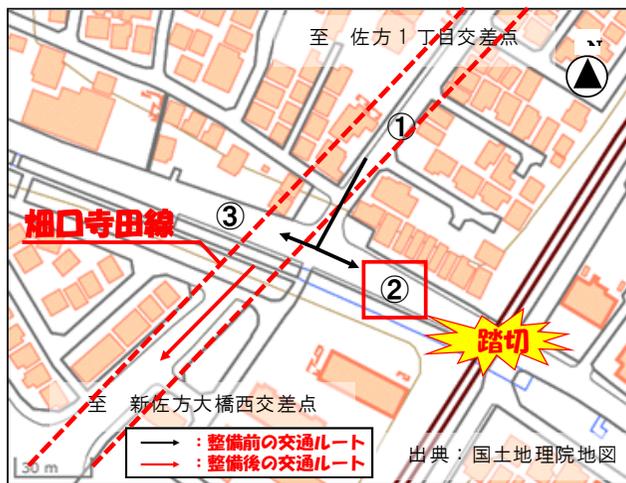
## 【歩道の設置による安全な通学路確保および混雑緩和】

両側歩道を設置することで、安全・安心な通学路を確保。

鴨原踏切北交差点の交通混雑緩和により、安全な歩行空間の確保。



### 交通量調査結果



【②路線】  
(整備前)H22.6交通量調査 :約8,000台/日  
(整備後)R4.10末交通量調査:約5,700台/日(約3割減)

交通転換が  
図られている。





## 【開通式の実施】

地元自治会を主体として、新佐方大橋の開通式を実施した。開通式では、約150の公募から決まった愛称「佐方ぽんぽこ大橋」を発表し、獅子舞や御輿の先導のもと、渡り初めを行なった。

手作りのカートレースも企画され、地元住民約1,000人が参加するにぎやかな開通式となった。



**【報道資料】**

**令和3年12月2日西広島タイムスにて掲載（ネット）**

**令和3年12月4日中国新聞デジタルにて掲載（ネット）**

**令和3年12月5日中国新聞にて掲載**

**令和4年1月1日広報はつかいちにて掲載**